

春の宣伝物 をご活用下さい！



病院用号外新聞



全学用リーフ、ポスター

新採用者へ、隣のあの人へ

久しぶりに会ったあの人へ

組合の大切さを伝えて！加入を呼びかけよう！



新年度

みんなで新しい
仲間を迎えよう！



組合での春の取り組み

福島大学 教職員組合



組織拡大の取り組みとして
年度初めに取り組みでい
ることは、
①新入教職員説明会終了後
に組合の宣伝、
②非正規職員の方へは、所
属部署に行く前に廊下で
資料を配布、
③分会役員を中心に主に新
入教員への勧誘、
等です。
その結果、昨年4月には
9人の新しい仲間を迎える
ことができました。
近年では主に無期転換問
題に取り組みつつ、レクリ
エーション活動にも力を入
れております。例えば、春
には花見、夏にはビアパ
ーティ、また不定期で「おし
ごとカフェ」での懇談会や
歌声喫茶なども開催してい

ます。
新年に入ってから活動
ですが、「旗びらき」(新年
会)では福島県労連の議長
にもご参加いただき、組合
役員が考えてきたクイズ大
会を行い、大いに盛り上が
りました。また、年明けに
事務職員は全員に勧誘チ
ラシを配布する一方、今後
未加入の教員へも一人ずつ
声掛けする予定です(ロー
ラー作戦)。3月には退職な
さるベテラン事務職員を囲
んでのおしごとカフェも企
画中です。
非正規教員・職員が増加
しており、そうした方々の
加入が課題です。大学執行
部には組合役員経験者も多
くおります。他の組合同様
事務職員の加入減が悩みで
す。非正規の方の加入が
時々ありますが、その方た
ちが中心になって組織化す
る前に、期間満了で退職さ
れてしまうのも悩みです。
一方で、2019年4月
から学生受け入れを開始し
た食農学類の先生方をはじ
め、着任して日の浅い先生
方も積極的に組合活動に関
わってくれていることは大
きな喜びであり、これから
の期待でもあります。
(執行委員長 村上雄一)



新任教職員への組合説明
会を、大学本部、附属病院、
附属学校園の3カ所で行っ
ています。参加率や雰囲気
は場所によって差がありま
すが、リーフレットを配付
し(約300人)、活動内容
を直接説明できる(約10
0人)貴重な機会だと考え
ています。
在職者へのアンケートで
は、組合に加入しない理由
として「組合の活動をよく
知らない」という回答が2

金沢大学 教職員組合



3割程度もあります。そ
こでこれまでのニュース(紙
媒体)とホームページに加
えて、フェイスブックとツ
イッターも始めました。フ
ェイスブックでは労働問題
や大学をめぐるニュースを
適宜、ツイッターでは主に
組合交渉で実現した事項を
毎日一件ずつアップしてい
ます。学内外を問わず、そ
れなりのフォロワーがあり
ます。(未加入者から)「加入
意向あり」という回答が必
ずあることから、キャッ
チで時宜にかなった幅広
い宣伝活動で組合活動を認
知してもらう必要を感じて
います。
そして、加入の契機で最
重要なのは、信頼できる身
近な人からの声かけです。
ただ、組合員の中にも、勧
誘の声かけを躊躇していま
う、組合活動に実感が持て
ないという方もいらっしゃる
ように思います。
そこで、今年度は『職場
を変える秘密のレシピ47』
を使った学習会を行う予定
です。組織化の姿勢、対話
の方法、課題の選択、キャ
ンペーン強化などの『秘訣』
を体得して、組織化に繋げ
たいと考えています。
(執行部)



組合員・未組合員に関わ
らず多くの非常勤職員に声
かけをし、雇い止め問題の
説明会を行いました。多く
の大学で無期転換が実現し
ていること、5年での雇い
止めは労契法改正の趣旨に
反していることなどを参加
者に説明しました。

大分大学 教職員組合



そこで「一言カード」を
参加者に配布し、思いの丈
を書いてもらいました。「5
年後に再就職先を探すのは
年輪的に心細い」「積んだ経
験を無駄にしたくない」と
いった生の声を数多く得る
ことができ、この一言カー
ドを団交の場に持ち込み法
人側に読み聞かせました。
さらに説明会では折り紙
も大量に配布し、参加者に
折り鶴の作成を依頼しまし
た。非常勤職員のご家族や
本学の学生も巻き込み、折
り鶴は最終的に約700羽
も集まりました。その七百
羽鶴を団交に持つていき、
法人側に対して折り鶴の数
の意味を考えて欲しいとア
ピールしました。
これらの活動により、元々
2人だった非常勤職員の組
合員に加え、新たに12人も
の非常勤職員が組合に加入
してくれました。折り鶴の
取り組みは理屈抜きに楽し
くまた不思議な団結力を生
み、非常勤職員のみならず
と交流を深める大変貴重な
機会となりました。新たな
組合員のみならず共に、
ひとりでも多くの無期転換
を実現すべく仲間づくり&
交渉を続けています！
(委員長 市来龍太)

全大教新聞

2020年3月10日

第369号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称：全大教)



【PDF版(全面カラー)】
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107

【電話】03-6802-4250

【HP】<http://zendaikyo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います(一部30円)

今月の紙面

- 2 春・新歓期 合同地区別単組代表者会議
北海道東北2/15、16、関東甲信越2/15、
中部近畿2/22、中国九州2/22、23
論壇「子ども食堂」での取り組みとその役割
岐阜大学教育学部教授 坂本一也
- 3 職場のQ&A ② 年次有給休暇とその2

- 4 単組からのレポート
鳥取大学
「労働組合は民主主義の学校です」
広島商船高等専門学校
「組合活動に関する雑感」
わたしもひとこと